

国指定

所在地：見内

もくぞういざなぎのみことざぞう

木造伊邪那岐命坐像

一木造神像で、わずかに彩色が残っている。冠を戴き、顎髭^{あごひげ}を彫出し、笏^{しやく}を手にする男神像で両眼が大きく見開き、神威を強く感じさせる相好である。神像彫刻の類例は少なく、平安時代までさかのぼる像が比較的良好な状態で伝えられていることは極めて重要である。

伊邪那岐命は、記紀神話において伊邪那美命^{いざなみのみこと}とともに天浮橋より降臨し、^{あめのうきはし}国土を創り天照大神を生んだ神である。

式内社二村神社所在。



非公開により社殿の写真を掲載